



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 リアルコム株式会社
コード番号 3856 URL <http://www.realcom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 市瀬 厚

問合せ先責任者 (役職名)

(氏名) 吉原 美夏

TEL 03-6864-4001

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	1,875	131.4	229	533.0	172	—	138	—
24年6月期第3四半期	810	—	36	—	△1	—	△9	—

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 138百万円 (—%) 24年6月期第3四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	4,087.22	—
24年6月期第3四半期	△407.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
25年6月期第3四半期	1,576	—	527	—	33.4	15,008.13
24年6月期	1,358	—	359	—	25.6	10,381.08

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 527百万円 24年6月期 347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,000	—	240	—	220	—	200	—
	～3,800	—	～350	—	～330	—	～300	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	35,144 株	24年6月期	33,477 株
25年6月期3Q	2 株	24年6月期	2 株
25年6月期3Q	33,821 株	24年6月期3Q	23,468 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国の経済状況は、昨年末に発足した新政権による景気対策への期待感や、日銀の大幅金融緩和実施による円安進行で、株価回復の動きが見られるなど、輸出産業を中心に先行きに明るい期待が持てるものとなりつつあります。然しながら、長期的には長引く欧州債務危機問題、新興国の経済成長率の鈍化などの不安要素は解消されておらず、实体经济への影響はこれからの段階であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、前連結会計年度においてWWB株式会社(以下、「WWB」という)との株式交換を実施し、当社の既存事業であるIT事業に、WWBの既存事業である建機販売事業及び新規事業となる太陽光発電(ソーラー)事業を加えました。当連結会計年度は、株式交換実施による新たな事業基盤で初めて1年間通して事業を行うこととなります。また、当事業年度より連結納税制度を適用することから、連結子会社のWWBについて決算日を5月31日から6月30日に変更しております。この決算日変更に伴い、WWBについて当第3四半期連結累計期間は平成24年6月1日から平成25年3月31日までの10ヶ月間を連結しております。

当第3四半期連結累計期間において、既存事業であるIT事業及び建機販売事業は厳しい経済環境下ながら堅調に推移しております。また、新規事業である太陽光発電(ソーラー)事業においては、市場拡大により競争が激しくなっていく状況ではあるものの、メガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの需要の拡大及び従来からの住宅用太陽光発電システムを中心に堅調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,875,169千円(前年同四半期比131.4%増)、営業利益は229,872千円(前年同四半期比533.0%増)、経常利益は172,946千円(前年同四半期は経常損失1,515千円)、四半期純利益は138,233千円(前年同四半期は四半期純損失9,569千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. IT事業

当社主力製品「Knowledge Market」、MS事業におけるライセンス販売、SI、運用保守等により、売上高285,153千円(前年同四半期比57.6%増)、営業利益28,489千円(前年同四半期比42.2%減)となりました。

2. 建機販売事業

WWBにおいて、建設機械を国内及び海外に販売した結果、売上高598,633千円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益347千円(前年同四半期比94.6%減)となりました。

3. 太陽光発電(ソーラー)事業

WWBにおいて、ソーラーパネル及び関連製品を販売した結果、売上高991,382千円(前年同四半期比3,943.6%増)、営業利益225,156千円(前年同四半期は営業損失8,724千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は861,614千円となり、前連結会計年度末に比べ197,980千円増加いたしました。これは主に商品が68,915千円、売掛金が109,304千円増加したことによるものであります。固定資産は715,150千円となり、前連結会計年度末に比べ19,977千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が46,823千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,576,765千円となり、前連結会計年度末に比べ217,958千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は872,677千円となり、前連結会計年度末に比べ19,896千円増加いたしました。これは主に買掛金が77,042千円増加したことによるものであります。固定負債は176,672千円となり、前連結会計年度末に比べ29,822千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、1,049,349千円となり、前連結会計年度末に比べ49,718千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は527,415千円となり、前連結会計年度末に比べ168,239千円増加いたしました。これは主に四半期純利益138,233千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.4%(前連結会計年度末は25.6%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前連結会計年度において、当社とWWBとの株式交換実施により、当社グループは既存事業であるIT事業にWWB既存事業である建機販売事業、新規事業となる太陽光発電（ソーラー）事業を加えております。当該株式交換の実施により、前連結会計年度の経営成績は、売上高1,336,370千円、営業利益92,067千円、経常利益52,419千円、当期純利益31,226千円となっております。平成25年6月期については、実質的に初めて1年間通して、IT事業、建機販売事業、太陽光発電（ソーラー）事業を行うこととなります。

IT事業及び建機販売事業については、既存事業であり足元の状況を勘案した計画となっております。

太陽光発電（ソーラー）事業については、平成24年6月期より本格的に参入した事業であり、住宅向け（戸建）を中心に立ち上がりを見せております。今後の事業展開としては、住宅向け（集合住宅）、産業用さらにメガソーラーへの参入を検討、実施してまいります。太陽光発電（ソーラー）事業は事業分野としては成長著しくかつ競争が激化してきている分野でもあることから、事業展開の進捗によっては今後の事業の見通しが大きく変動する可能性があります。

なお、平成24年8月23日の「平成24年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高のうち当社の借入金423,084千円について、借入先と6ヶ月毎に期日更新を行ってきております。現在の当社グループの手元資金及び今後1年間の資金繰り見込みにおいては、今後もこの借入金についての期日更新が当社グループの事業継続の前提となります。当該状況により、当社グループにおいては継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく以下の施策に取り組んでおります。

①今後の収益力への取り組み

当社は、平成23年11月24日開催の当社株主総会において、当社とWWBとの株式交換契約につき承認決議され、同日29日に効力が発生しております。前連結会計年度に実施した当該株式交換により、当社既存事業であるIT事業、WWB既存事業である建機販売事業に加え、太陽光発電（ソーラー）事業に参入し、グループとして強固な事業基盤を構築し、継続して収益を生み出す企業体を目指してまいります。

②当社グループの事業の進捗状況

当第3四半期連結会計期間においては、既存事業であるIT事業及び建機販売事業においては、厳しい経済環境下ながら、堅調に推移しております。また、新規事業である太陽光発電（ソーラー）事業においては、市場拡大により競争が激しくなっていく状況ではあるものの、WWB製品は品質性能、価格において競争力を有しており、住宅向けを中心に堅調に推移しております。また、平成24年5月末に当社とWWBの事務所統合を予定通り実施いたしました。これにより、事業の効率的な推進及び費用の削減が可能となっております。

③財務基盤の強化

当社の資金状況については、当社より借入先である株式会社三菱東京UFJ銀行に対して、適宜、当社グループの事業進捗状況の説明を行い、今後の返済期日の更新について協議を行っております。

WWBの資金状況については、足元、事業は堅調に推移しており、仕入資金確保についても、取引先との決済条件の緩和等により自助努力での資金繰り改善を鋭意行っております。

グループ全体としては、当社、WWBの両社において機動的に資金を融通し、安定した事業運営やメガソーラー等への投資を行ってまいります。

これら施策を着実に実行することにより、早期に借入金を返済し、経営基盤の安定化を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	152,985	180,598
売掛金	116,249	225,554
商品	321,445	390,360
仕掛品	4,239	862
原材料及び貯蔵品	146	106
その他	69,076	64,541
貸倒引当金	△510	△410
流動資産合計	663,633	861,614
固定資産		
有形固定資産	30,483	77,307
無形固定資産		
のれん	624,483	600,361
その他	1,740	975
無形固定資産合計	626,223	601,337
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	226,952	269,132
関係会社長期未収入金	23,801	32,719
その他	22,477	16,629
貸倒引当金	△234,766	△281,975
投資その他の資産合計	38,465	36,506
固定資産合計	695,172	715,150
資産合計	1,358,806	1,576,765
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,921	208,963
短期借入金	463,084	463,084
1年内返済予定の長期借入金	24,726	23,434
未払金	48,337	37,134
未払法人税等	25,714	41,812
未払消費税等	13,829	4,200
前受金	138,203	67,995
その他	6,965	26,052
流動負債合計	852,780	872,677
固定負債		
長期借入金	99,180	81,276
その他	47,669	95,396
固定負債合計	146,849	176,672
負債合計	999,630	1,049,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,312	802,150
資本剰余金	14,162	35,000
利益剰余金	△447,936	△309,702
自己株式	△32	△32
株主資本合計	347,506	527,415
新株予約権	11,669	—
純資産合計	359,175	527,415
負債純資産合計	1,358,806	1,576,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	810,337	1,875,169
売上原価	628,837	1,324,965
売上総利益	181,499	550,204
販売費及び一般管理費		
役員報酬	26,985	46,912
給料	28,459	64,316
支払手数料	17,111	50,131
研究開発費	—	3,315
減価償却費	9,875	5,949
のれん償却額	10,720	24,121
その他	52,029	125,585
販売費及び一般管理費合計	145,182	320,331
営業利益	36,316	229,872
営業外収益		
受取利息	12	25
その他	452	7
営業外収益合計	465	32
営業外費用		
支払利息	5,861	13,480
支払手数料	6,017	1,802
為替差損	5,108	38,025
貸倒引当金繰入額	17,952	3,071
その他	3,357	577
営業外費用合計	38,297	56,957
経常利益又は経常損失(△)	△1,515	172,946
特別損失		
事務所移転費用	11,597	—
特別損失合計	11,597	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13,113	172,946
法人税、住民税及び事業税	451	40,644
法人税等調整額	△3,995	△5,931
法人税等合計	△3,543	34,712
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,569	138,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,569	138,233

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△9,569	138,233
四半期包括利益	△9,569	138,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,569	138,233

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高のうち当社の借入金423,084千円について、借入先と6ヶ月毎に期日更新を行ってきております。現在の当社グループの手元資金及び今後1年間の資金繰り見込みにおいては、今後もこの借入金についての期日更新が当社グループの事業継続の前提となります。当該状況により、当社グループにおいては継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく以下の施策に取り組んでおります。

①今後の収益力への取り組み

当社は、平成23年11月24日開催の当社株主総会において、当社とWWBとの株式交換契約につき承認決議され、同日29日に効力が発生しております。前連結会計年度に実施した当該株式交換により、当社既存事業であるIT事業、WWB既存事業である建機販売事業に加え、太陽光発電（ソーラー）事業に参入し、グループとして強固な事業基盤を構築し、継続して収益を生み出す企業体を目指してまいります。

②当社グループの事業の進捗状況

当第3四半期連結会計期間においては、既存事業であるIT事業及び建機販売事業においては、厳しい経済環境下ながら、堅調に推移しております。また、新規事業である太陽光発電（ソーラー）事業においては、市場拡大により競争が激しくなっていく状況ではあるものの、WWB製品は品質性能、価格において競争力を有しており、住宅向けを中心に堅調に推移しております。また、平成24年5月末に当社とWWBの事務所統合を予定通り実施いたしました。これにより、事業の効率的な推進及び費用の削減が可能となっております。

③財務基盤の強化

当社の資金状況については、当社より借入先である株式会社三菱東京UFJ銀行に対して、適宜、当社グループの事業進捗状況の説明を行い、今後の返済期日の更新について協議を行っております。

WWBの資金状況については、足元、事業は堅調に推移しており、仕入資金確保についても、取引先との決済条件の緩和等により自助努力での資金繰り改善を鋭意行っております。

グループ全体としては、当社、WWBの両社において機動的に資金を融通し、安定した事業運営やメガソーラー等への投資を行ってまいります。

上記施策については取組の途上であり、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しいものと予想されることから、取組が予定通りに進捗しない場合には、当社グループの財務状況は悪化する可能性もあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	I T 事業	建機 販売事業	太陽光発電 (ソーラー) 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	180,953	604,866	24,517	810,337	—	810,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	180,953	604,866	24,517	810,337	—	810,337
セグメント利益 又は損失(△)	49,280	6,481	△8,724	47,037	△10,720	36,316

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△10,720千円はのれんの償却額です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	I T 事業	建機 販売事業	太陽光発電 (ソーラー) 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	285,153	598,633	991,382	1,875,169	—	1,875,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	285,153	598,633	991,382	1,875,169	—	1,875,169
セグメント利益	28,489	347	225,156	253,994	△24,121	229,872

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,121千円はのれんの償却額です。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。